

NTT西日本の社員に聞いてみた！（第1回）

【実例紹介】まさかのウイルス感染……。からの間一髪のデータ復旧

2024.11.22

連載「NTT西日本の社員に聞いてみた！」では、日ごろ、NTT西日本の社員がお客さまのDX推進やセキュリティ対策などをご支援する中で経験した事例や社員の働き方にスポットを当てながら、読者の皆さまにお役に立てる情報を発信します。

今回は、三重県松阪市で青果流通業を営む、ユナイテッド三重株式会社（以下、ユナイテッド三重）で発生したセキュリティ事故をご紹介します。近年、ますます増加するサイバー攻撃。ユナイテッド三重はセキュリティ対策をしていたものの、小さな隙を突かれてウイルスに感染してしまいました。

退社前、不審なアカウントを発見

5月中旬、土曜日の午後4時30分。帰社前の最終チェックとして、ユナイテッド三重の情報システム担当者であるAさんはシステムサーバーのログを確認していました。そのとき、見覚えのないログインが目にとまりました。驚くべきことに、そのログインは現在使われていない過去のアカウントでした。



「なぜこんな古いアカウントが今頃使われているのか？」

疑念を抱いたAさんは、すぐにサーバーを管理しているベンダーに連絡を取りました。しかし、ベンダーからは「ログインしていない」と返答が来ました。不安に思いながらもログインの正体が分からないまま、その日は帰宅しました。

自宅に着いた後も、Aさんの頭からはあの見知らぬログインのことが離れませんでした。どうしても気になったAさんは、自宅のパソコンからChromeリモートデスクトップを使用して再びサーバーにアクセスすることにしました。

帰宅後、目の前には驚きの光景が……。 続きを読む